

NEWS 2022年 1月 15日発行

発 行:特定非営利活動法人日本ビデオコミュニケーション協会

編 集:広報出版委員会(委員長:田村進) 〒 102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-10-510 電話 03(3234)5994 FAX 03(3234)5995

設立: 1981年8月21日 NPO法人化: 2004年8月31日

http://www.javcomnpo.or.jp E-mail: info@javcomnpo.or.jp

日本ビデオコミュニケーション協会 高瀬理事長 新年の挨拶





理事長 高瀬義美

新年あけまして、おめでとうご ざいます。

コロナ禍の中2回目の新年のご 挨拶となりました。

会員の皆様におかれましては感 染症対策による活動制限があり、 有意義な企画・イベント開催が困 難な状況が続いているなかでも積 極的にJAVCOM 活動にご協力い

ただきまして誠に感謝申し上げます。

そんな中でも昨年は各委員会が知恵を絞り、限られた環 境の中でイベントを開催しました。オンライン勉強会から 多地点からの中継を取り入れた有料セミナー、新入社員の 思いを語る"語りべ"、最近では少人数による訪問型の勉強 会も開催しJAVCOM ならではの多様性のある活動を開催

しました。

今までJAVCOM では映像産業のイノベーションを時代 と共に追い求め勉強してまいりました。このコロナ時代で 生活様式にもイノベーションが生まれニューノーマル時代 と進化し、リモートワーク・家飲みなど人と人とのコミュ ニケーションの取り方も多様化してきました。

JAVCOM でも今後は持続可能な社会とは?「SDG s l の実現に何ができるのか検討し本年も地に足を付けて前向 きに進みます。

より一層のご支援、お引立てを賜りますようお願い申し 上げます。

皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせ ていただきます。

> NPO 法人日本ビデオコミュニケーション協会 理事長 高瀬 義美

# 新年のごあいさ



副理事長 寺林英明

新年おめでとうございます。 JAVCOM 会員各社の皆様に おかれましては、本年が素晴ら しい年になりますことを心よ りお祈り申し上げます。

一昨年より続く新型コロナ ウィルス感染拡大により、様々 なイベントが中止、延期となっ てしまいました。今年も、コロ

ナ禍の中での活動が余儀なくされることが予想されます が、感染防止対策をしながら、JAVCOM 本来の活動を再開 できるように協会運営に務めさせて頂く所存です。是非今 年も皆様方のご理解、ご協力を賜りますよう何卒よろしく お願い申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

副理事長 寺林 英明



常任幹事長 尾崎紀身

新年あけましておめでとうご ざいます。会員の皆様におかれ ましては、健やかに新春をお迎 えのこととお慶び申し上げま

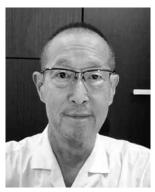
昨年はコロナに明け、コロナ に暮れた1年でありました。長 期間に及ぶ緊急事態宣言下、日 常に於いては様々な制約、自粛

が続く1年となりました。その様な中ではありましたが、東 京オリンピック・パラリンピックは無観客を始め様々な対 策を講じ、無事その幕を閉じることが出来ました。

当協会に於きましても、様々な取組を行ってまいりまし た。7月には2拠点を中継で結んでの、有料オンラインセミ ナーを開催いたしました。リアルに会することが難しい中 での取組として、成功裏に終わったと考えております。また 12月には、参加人数を制限した上での見学会も実施致しま した。今年はこの状況も多少和らぐかとは思いますが、厳し い状況はまだ続くと思われます。JAVCOMはその様な 状況下にあっても、様々な情報発信の場を設けて行きたい と考えております。会員の皆様には、引続きご協力の程宜し くお願い申し上げます。

皆様にとって2022年が良い年でありますよう、心よ りお祈り申し上げます。

常任幹事長 尾崎 紀身



広報出版委員会 委員長 田村 進

皆様、新年あけましておめで とうございます、昨年は皆様の ご協力をいただきありがとうご ざいました、本年も昨年同様に JAVCOM 広報出版委員会をよ ろしくお願いいたします。

さて、小生の書斎について少 し書かせていただきます。現在 は定年退職をして終身在宅勤 務のサンデー毎日を過ごして

いますが、退職前はなんとなく老後は書斎があるといいな と漠然と思っていましたが何の準備も考えていませんでし た。そんな中コロナ禍騒動で出勤日も減り在宅勤務が多く なり、自宅リビングで日がなネットサーフィンをするうち Zoom 会議が多くなり始め、リビングだと家内も居るしオ ンライン会議環境改善を考えました。結局よくあるパター ンの、3階の物置同然の嫁に行った娘の部屋を片付けて書 斎にすることにしました。あれだけあった荷物がなんとか 収納できPCの周辺機器やその他のパーツなどが十分な収 納スペースを確保できました。以前は常にノートブックタ イプのMacbook Proで家庭内ノマドでしたが、このタイミ ングで新型が発売されたデスクトップ型のM1Imac24を購 入してさらに書斎らしくなりました。Network 環境は以前 から2階踊り場にWiFi6対応のルーターを設置しているの で家中どこでも十分な電界強度とAu 光5Gbps 光回線の端 末装置(ONU)で有線と無線による高速環境を構築していま した。Zoom 会議の背景設定を合成画でなくリアル画像に したかったので、猫の居る生活感と窓外になんとなく景色 が見えるようにテーブルを配置しました。ここでデスクで はなくテーブルにした経緯ですが物置だった頃の一番の大 きな荷物はテーブルでした。これを利用することで一気に 整理ができました。丸テーブルなのでデスク機能以外の用 途にも対応しやすく便利です。

快適さを更に良くするために中型のアクティブスピー カーを設置して高音質のDAC(デジタルアナログ変換)経 由で古いMacbook Pro のUSB OUT を利用したシンプルな ハイレゾオーディオシステムで作業用BGM を流していま す。

まだ生活感のある散らかった部屋ですが時間をかけて ゆっくり整理していく予定です。

広報出版委員会 委員長 田村 進

#### 現役時代の急ぎ過ぎたか夢ビジネス 熟 年 人 語

金丸幹夫

# I Love Video



1970 年代、小生の映 像日誌の頁を開くと、半 世紀後の現況「4K8K」 今の夢がのぞけるのは 嬉しいネ!

アルバイトを契機に テレビCM制作が面 白くなった俺は、TBS 局のドラマ制作でイン サートフィルムでの多

くの演出に拘わった背景があり、フィルムからテープへ の変革期、つまり「CFからV・CMへの制作転換」を志 し、その最先端にいた。

フィルム一辺倒の協会で「鼻ツマミのビデオ委員会」 をつくり、デジタル未来を夢みながら、ビデオメディア 最先端の模索と情報収集に躍起となっていた。

[1975年3月14日ニューヨーク(雪)]

おしゃれな蝶ネクタイの映像プロデューサーが開口一 番に「80年代にフィルムは離れ、ビデオの台頭で次のデ ジタル時代に向うエボリューションである一俺は嬉しく 叫んでしまったネ。

"I Love Video!"ここはNY マンハッタン最大手の プロダクション・ハウス「スクリーンジエムス |の会議 室である。

以来、ビデオに革新をもった俺は業界のオピニオン リーダーとおだてられ、頻繁にアメリカ NY と LA を、 時には SF へ企業視察に数多く(SF はナパバレーやソ ノマのワインが狙いで) アタックした。

フィルムとビデオテープのコラボによる制作が構築 され、主流になったのは、78~80年代にかけたこのテ クニカルツアーが原点であり、デジタル時代に向う日本 での「F to T(フィルム撮影のテープ編集)」を決定づけ る俺の正夢でもあった。

そして | Love Video と言う素朴な芽生えは、表現上

の価値観をベースに黄金時代を築いた I Love Film へ の対立的イメージでもあった。でも一時期の俺はフィル ム派からは嫌われ者だった。

1976年「宣伝会議」の編集長天野昭氏から一冊 15000 円の高価な限定専門書「VTR·CM 制作マニュ アル」の執筆依頼を受け、増刷まであり嬉しかった。その 記事のクロージングとなったヒトコマが今の映像改革 に連携のデジタルCM かと懐かしく回想をした。

「20XX 年XX 月XX 日午前7 時00 分00 秒俺は実にさ わやかな気分で目を覚ましたネ!

小鳥のさえずり、新鮮なフルーツやコーヒーの香り と共に俺の一日が始まると思うと、幸せ一杯な気分に なってくる。

これもすべてトイ面の壁にほぼ全体を占めるテレビ 画面のおかげだ!

眠っている俺の頭にオンエアーする毎秒1000 フレー ム10000 本の走査線、しかも立体映像と匂い付きで俺を 迎えてくれる。

ああ、ちょうどアメリカの何とか言うドクターが しゃべってるぜ

"みなさんエレクトロニクス・ビデオは、人間の脳の 構造と相似してるのです"嬉しいネ!

俺はテレビに向って声高に叫ぶ"I Love Video!!" "アナター何時だと思ってるの?!"朝一声の妻 俺の夢起床時である

そして今、匂い感知立体テレビはないが、映像は4K 8Kにエスカレートした。未来学者ジュール・ヴェルヌ のように、人間は前向き途方もない夢を見るべきかと。

今4K8K から5G は更なる技術革新をして、AI 挑戦の 情報闘争がけたたましくなる。

わが国の遅まきデジタル後進国の急ぎこそは必須か と~

先手必勝の夢ビジネスにあせりたい。

# ~ソフト制作研究委員会 2021年11月度 勉強会~ 「オンラインプレゼンの極意」

日時:2021年11月5日(金)オンライン開催

開始時刻:18:00~(45分)

参加人数:32名

講師:岩瀬 慎平氏(東芝/日本大学講師)

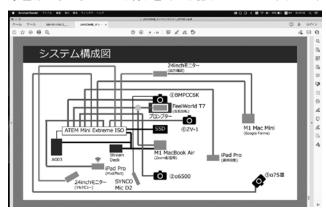
ソフト制作研究委員会では11月5日「オンラインプレゼンの極意」と題した勉強会を行いました。新型コロナの影響でオンライン会議、オンラインセミナーなどを行うことが増えてきた昨今、どういった形で行うのが良い方法なのかを東芝社員/日本大学講師でもあります岩瀬氏を講師にお迎えして勉強会を開催しました。

# <コロナ禍になって>

コロナ禍になって新しいコミュニケーションの取り方が増え てきた。

オンライン化で対面で話す事ができないデメリットはあるが、移動時がなくなり、今まで行くことが難しかった遠方の方とリアルタイムに話すことができることで新しいビジネスチャンスが生まれ、それによりオンラインなら「いつでも」「どこでも」「いろいろなパターン」で配信が行うことができます。

岩瀬氏は在宅勤務を契機に自宅の部屋を配信スタジオに変更。 今回はわざわざ8カメを切り替えてお話をしていただきました。





# <オンラインでは、なぜ長時間集中して映像を視聴できないのか>

オンラインで行うからこその弊害として

- 1、映像に変化がないことで単調になり長時間の視聴に耐えられない
- 2、一方的な説明や会話のため相手の表情を確認しづらい(ア イコンタクトができない)
- 3、臨場感がない

上記の3つを解決することで視聴者を飽きさせないオンライン会議、セミナーが可能になる

# <オンラインコミュニケーションでの失敗例>

- 1. 参加者を飽きさせている
  - =飽きさせない仕掛けが必要
- 2. 双方向性を確保しない
  - =言葉のキャッチボールが少ない
- 3. 自分が言いたいことを言い放って満足してしまう
  - = "共感" にフォーカスしていない
  - =事前の下調べはとても重要(業界,年齢層,経歴など)

# <オンラインコミュニケーション>

・参加者を飽きさせないためには

オンラインで参加者をのめり込ませる工夫が必要 テクノロジーでカバーする

- 高画質のカメラ(≠高級なカメラ)
- カメラスイッチャー
- 外部マイク
- テロップ(文字)

# 双方向性を確保する

- 映像表現,
- アンケート,
- チャット

# 言いたいことを色々な方法で伝える

- 配信の構成・流れでカバーする
- 画面切替え, 構成
- ファシリテート( 司会)
- プレゼンテーションテクニック

# ●<高い機材を選べばいい?>

高い機材の導入は必要なく誰でも、いつでも、カジュアルに使える機材が良い

今回はあえていくつもの機材をつなげているがポイントだけを 押さえておけば無駄に高い機材を購入する必要はない

●<オンラインコミュニケーションで大切なこと>

映像,音響,回線の品質

注)品質:聴き手がどういう尺度で価値を判断するかに大きく 依存する。つまり…正解がない(正解はあるものの、正解は聴 き手が判断する)

トラブルはストレス&苦痛を受ける

# 1)映像

一番情報量が多いので、できるだけこだわりたい (オンラインでは視覚情報が大事なので、できるだけ綺麗な映 像で配信したい)

#### ② 音 響

聴きやすい音"にこだわることで集中&臨場感UP (視覚情報の次に重要な聴覚情報も途切れたりすることでス トレスとなり集中できなかったりする)

# ③回 線

貧弱なインターネット回線では高品質の映像配信は難しい (インターネット回線が貧弱だとオンラインコミュニケー ションのすべてを台無しにするので高速回線必要)

# ●<今からできるテクニックとして岩瀬氏から教えていただい たノウハウ>

- 1、パワーポイントの資料を画面いっぱいにただ表示させるの ではなく自分を表示させたり、別のカメラ映像をまめに切り 替えたりして飽きさせない工夫が必要。
- 2、カメラに向かって話して目線を外さない、視聴者に話しかけ る形で話すことでより臨場感がアップする。
- 3、配信する場所、配信空間にこだわる。背景などの映る物も重 要であえて相手に興味を抱かせる背景などにする(バーチャ ル背景は相手に不安を抱かせる事があるらしい)



# ●<オンラインコミュニケーションのまとめ>

- 対面とオンラインの違い (メリット, デメリット)
- オンラインならではの工夫は誰でもできる。
- ・"高い機材" = "すごい配信"とは限らない

- 伝えたいコンセプトを明確に。
- ・相手の聴きたい(≠聞きたい)ことにフォーカスする。

# 今回の勉強会で感じた事

新型コロナの影響でオンライン配信が増え誰とでも、いつで もオンラインでつながる事が出来るようになって便利だと思っ ていただけでしたが、今後はより相手を飽きさせない、双方向性 を考えたオンラインプレゼンのための工夫が必要だと感じさせ られました。

# ----- Q&A -----

# スマートフォンで見られる方が多い場合に 意識した方が良いことはありますか?

スマートフォンだと文字の大きさが小さくなるので文字の大 きさには注意した方がいい

# 喋り方で意識されていることはありますか?

抑揚をつける、ちょっとした間をとることが大事。

# 牛配信と事前録画配信の違いや 気をつけることはありますか?

生配信は一発勝負なので、変な事を言わないように気を遣っ ている。ここだけの話とか言っても SNS などで拡散される恐れ もあるので気をつけている。事前録画配信は著作権やこの言葉 は正しい言葉か必ずチェックします。

# オンラインとは思えないほど自然に話されていて驚きました。 意識していることはありますか?

慣れだと思います。

# **▼講 師:岩瀬慎平**(いわせ・しんぺい)氏

2009年に ㈱東芝 に入社。入社以来、PJ 管理、エンジニア リング業務、QA、営業技術を歴任。

現在は、リチウムイオン電池と自動車の電動駆動システム の分野で活躍。

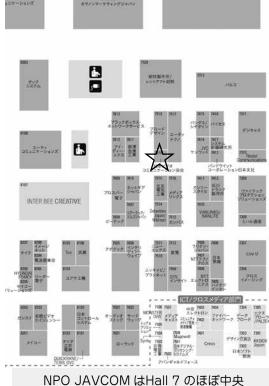
2020年からは、動画配信スキルを活かして、リモート営業 で受注数を更に伸ばしている。

日本大学では、非常勤講師としてキャリア教育を講義する 傍ら、外部講師としても講演し、日経新聞はじめメディアから の取材も多々。

最近の業務では自社製品の外販を担当しつつ、デジタル マーケティングのデータアナリシス、ビジネスプランニング とビジネスへの実装を行うマルチブリッジ人財としても活動 している。

# International Broadcast Equipment Exhibition 2021 第57回 InterBEE 2021にブース出展





2021年11月17日(水)から19日(金)の3日間、幕張メッセ(千葉県千葉市)とオンラインを会場として開催したディア総合イベント [Inter BEE 2021](国際放送機器展) にブース出展した。

Inter BEE は、歴史と実績に裏づけされた、日本随一の音と映像と通信のプロフェッショナル展として、コンテンツビジネスにかかわる最新のイノベーションが国内外から一堂に会する国際展示会。

一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA:代表理事/会長綱川智株式会社東芝代表執行役社長CEO)では、この度のInter BEE開催の主旨を、『デジタル・トランスフォーメーション時代におけるメディア産業の新たなユーザエクスペリエンスを提示する展示会として、「コンテンツ」を中核に位置づけ、コンテンツを「つくる(制作)」「おくる(伝送)」「うける(体験)」の技術要素を網羅した「メディア総合イベント」に変容することを目指し開催した。」と発表している。

Inter BEE は、日本最大級のメディア総合イベントとして業界関係者に広く認知されており、プロオーディオ、映像、放送、通信、プロライティング、配信に関連するプロフェッショナルはもとより、映像・メディア業界の技術者・クリエイター・ステークホルダーが一堂に会する展示会である。

今年度の出展者数は495 社、団体、出展小間数749 小間で、幕張 メッセ会場には18,308 名が来場したとの事で、オンライン会場に も累計で1 万名以上が来訪しており、オンライン会場は1月後の12 月17 日まで引き続き閲覧可能となっていた。 なお、次回 [Inter BEE 2022]の開催は、幕張メッセ会場にて 2022年11月16日(水)から18日(金)の3日間を予定している。

No.7518 にて出展しました

# ■ Inter BEE 2021 日別登録来場者数(参考資料)

11月17日(水) 5.873名 11月18日(木) 6.316名 11月19日(金) 6.119名 合 計 18,308名

※ 登録来場者数は、重複無しのユニーク数となります。

《以上、主催者プレスリリースより抜粋》

# ■ Inter BEE2021 結果報告(田村委員長)

今回、角地ブースであった為、立地条件が非常に良かった。

ブース来場者数:29名(内12名 非会員様)

反省点:プロジェクター映像が照明に負けてしまい、見辛かった点が次回の課題となった今回は事務局と広報出版委員会のみでの運営であったが、次回は各委員会からの持ち回り担当に戻す予定。(今回はコロナ禍で来場者数が読めないことから、上記体制で問題ないという推察であった為。)

次回は、入会者を呼び込めるようなプロモーションを要検討。

# ニッキャビ㈱

新型マルチデスク「space  $RAIL\alpha$ 」およびマイナーチェンジした新型 静音ラック「SRC series を初出展。

コンソールデスクやモニターウォール、19 インチシステムラックなど 豊富なオプションを組み合わせて展示し、必要な仕様に合わせて各オプ ション群もご確認いただきました。

放送局における新社屋プロジェクトや大規模設備更新などに最適なソ リューションとして各種配線の整線保護や階層分け等を可能とする ケーブルマネジメント関連も合わせて提案いたします。

19 インチシステムラックを中心にコンソールデスクやモニター棚など のシステム筐体の開発・設計・製作・販売をしております。

あらゆる業界でご採用いただいております弊社のシステム筐体ですが、 特に放送業界においては歴史の中で培った技術とノウハウで放送シス テムの進歩に合わせて共に成長を続けて参りました。

お客様のご要望を弊社の提案力であらゆる物を「カタチ」にします。

また、近年ではマシンルームの空調効率化や配線の整線保護・階層分け マネジメント・筐体の設置工事から放送設備工事関連も承ります。

# http://www.niccabi.co.jp/





# 日本デジタル・プロセシング・システムズ(株)

り扱っています。

Wowza:業界標準、最先端のストリーミング サーバー (HLS、MPEG-DASH、SRT、Web RTC に対応)ソフトウェアやクラウドサービ ス、安心確実なライブエンコーダを提供。

Wowza Streaming Engine: オンプレミスま たはクラウド環境にデプロイ可能な配信サー バーソフトウェア(永続またはサブスクリプ ションライセンス)。閉域網での利用も可能。

Wowza Streaming Cloud:スケーラブルな 配信サーバー環境を提供するライブストリー ミング向けクラウドサービス。

Wowza ClearCaster:配信現場での問題を、 簡単、確実に解消し、安心且つ信頼できる自動 調整・モニタリング機能を搭載したアプライア ンスエンコーダ。

THEO:動画配信の視聴環境に必要な HTML5 ベースのプレイヤーを提供。

THEOplayer:次世代のWeb 標準HTML5 に対応した HLS / MPEG-DASH 動画プレ イヤー。Web だけでなく、iOS やiPadOS、 Android などのアプリに組み込む SDK も提供。

# **HESP (High Efficiency Streaming**

**Protocol)**:THEOplayer が一から開発した超 低遅延ストリーミング向けプロトコルです。

Metus:業務用フォーマットに対応したインジェス トや、ユニバーサルなメディアプレイヤー、ウォール ディスプレイ、スケーラブルなメディア・アセットマ ネジメントシステムなどのソリューションを提供。

当社は従来からのベースバンドとファイル Metus INGEST:連携するビデオキャプチャデ ベースメディア、オンラインビデオとストリー バイス (HDMI/SDI など)や NDI、SRT といっ ミングメディアの両方をカバーする商品を取 た IP ベースのストリームをインジェストし、柔 軟且つ効率的にファイルメディアを生成します。

> **Metus Player**:ファイルメディアを柔軟に再 生出力 (HDMI / SDI / NDI など)できる便利 なプレイヤーです。

Metus Wall:ソフトウェアベースのウォール ディスプレイソリューション、様々なソースを 柔軟に組み合わせて簡単に出力できます。

NPAW:オンラインビデオサービス向け、包括 的ビデオ分析 & ビジネスインテリジェンス・ プラットフォームを提供。

NPAW Suite: オンラインビデオサービス 向け、包括的ビデオ分析 & ビジネスインテリ ジェンス・プラットフォーム。ビデオサービス 全体のスマートな意思決定と行動をサポート、 パーソナライズされた魅力的なエクスペリエ ンスを構築して収益を最大化します。

VisualOn:画質を落とさずにビットレートを 削減し、視聴体験の向上と CDN コストの抑制 を両立。

VisualOn Optimizer: VisualOn Optimizer は、オンデマンド動画配信サービスの視聴体験 を向上させると同時に、配信サービスの収益向 上に直結する CDN コストを削減するという、 動画配信サービス事業者を悩ませるトレード オフの問題を解消します。

Zixi:インターネットを介しても堅牢な動画デ リバリーを実現するストリーミング QoS ソ リューション。

Zixi ビデオストリーミング QoS ソリュー

# https://www.dpsj.co.jp

**ション**: Zixi (ジクシー)は、完全な品質、低 遅延、総合的な信頼性、および最高のセキュリ ティ保護を備え、標準的なインターネット接続 で放送品質の HD および UHD ビデオの配信 と管理を可能にします。

**ZEN Master (ゼン・マスター)** : Zixi Platform 全体を編成でき、Zixi Platform、デバイ ス、アプライアンスにおける大量の設定、編成、 および監視を一元管理することが可能です。

Teradek:業務用のエンコーダ/デコーダを 開発する老舗メーカー、カメラマウント可能な 小型タイプからラックマウントできる高集積 タイプまで幅広く提供。

**Cube 700 シリーズ**:SRT 対応、ポータブル デバイス型のライブエンコーダ・デコーダ:世 界最高水準のビデオ品質で何処でも素早く IP ビデオを配備可能、カメラ上部や三脚にマウン ト可能な性能を堅牢且つポータブルなシャー シに収めた、コンパクト且つパワフルなライブ エンコーダ & デコーダ製品です。

Zenium:複雑化するメディアフォーマット のエンコード / トランスコードにロジカルな ワークフローを提供するプラットフォーム。

SelenioFlex ™ File:ロジック分岐対応、Fileto-File のトランスコード自動化ソリューショ ン:トランスコーディングとワークフロー機 能をシームレスに融合し、ポストプロダクショ ン、アーカイブ、マルチスクリーン配信といっ た用途向けに、高画質かつ包括的なフォーマッ トをサポートする、File-to-File メ ディア処理ソリューションです。

https://www.dpsj.co.jp



上記内容は InterBEE2021 公式サイト及び各社発表のリリースより転載しました。(順不同)

# ビジュアル・グラフィックス(株)

http://www.vgi.co.jp/

VGI ブースでは次世代の映像制作インフラに欠くことことのできないクラウド編集にフォーキャスし、クラウド編集における協調作業と、オンプレとクラウドをつなぐためのホットクラウドストレージを紹介。

加えて皆様より好評を頂いているシアター セッションブースを構え、注目プロダクトの 最新情報の紹介とユーザをお迎えしたゲスト セッションを連日実施しました。

尚、シアターセッションについては同スケジュールにてライブ配信を行いました。

# \*アピールポイント\*

- ・オンプレミスでの映像制作環境そのままに、 クラウド編集環境を実現したい。
- ・クラウドへのインジェスト方法は? データ 共有のアクセス権限は? オンプレとクラウ ドはどう繋ぐ?
- ・メディアを利用したデータアーカイブや、オンプレ環境でのバックアップをクラウドに移 行したい。



- ・ファイルベース納品 QC (品質管理)はどう してる?
- 流行りのバーチャルプロダクションはどう やってやってるの?
- ·グレーディングワークフローはどう構築する のがいいの?

などにお悩みの方は是非ともご連絡ください。

# \*ライブ配信内容\*

「EditShare 映像制作に最適な製品のご紹介ーオンプレからクラウドまでー」 「Autodesk Flame カラーマネジメントー



Tagging について一」
「効率的なメディア管理・運用を実現 Wasabi Hot クラウドストレージの活用」
ユーザセッション:レスパスビジョンーCM★
革命!「Baselight」∞「Flame」BLGを使った!次世代コラボレーション
「Virtual Production は制作現場をどう変えるか?」



http://www.vgi.co.jp/

# イノテック㈱

トフォーム (SaaS)。

OTT やリニア/IP 放送の動画サービス向けに品質監視ソリューションを中心に紹介。動画サービスにとって優れたコンテンツを豊富に取りそろえることはもはや当たり前となり、差別化が困難になっています。たくさんの動画サービスが登場し、視聴者の時間を奪い合う中で自社サービスが選ばれるためにも、品質監視/管理はすぐにでも取り組んで頂きたい課題です。

「Interra ORION Suite」及び「NPAW Suite」は、Live 及びVOD のヘッドエンド設備から、トランスコーダ/エンコーダの前後、オリジンサーバ、CDN/エッジサーバ、視聴者のエンドデバイス上でのユーザーエクスペリエンスまでの品質をリアルタイムに完全可視化し、貴社の動画サービスのQoS&QoE 向上を強力にサポートします。

# NPAW 社「NPAW Suite」



視聴体験品質との相関から見るBI 分析プラッ

視聴者のエンドデバイスのプレイヤにシンプルなプラグインを実装するだけで、動画配信サービスのパフォーマンスをあらゆる指標で可視化、マルチディメンションでフィルタリング抽出し、問題箇所を迅速にピンポイントで特定できます。大規模障害発生を回避するための先回り対策や手厚く積極的なカスタマーケアが可能になり、貴社の動画配信サービスプラットフォーム全体の最適化を支援します。オペレーション部隊やコールセンターでの技術的な問題解決だけではなく、解約予測を含めたユーザー動向の推移や広告のパフォーマンス管理もできますので、経営層やマーケティング視点からの迅速なビジネス判断も支援します。

# Interra Systems社 「ORION」&「ORION OTT」



配信中のコンテンツの品質エラーも検出可能なQoS & QoE 監視ソリューションLive

# https://www.innotech.co.jp/

& VOD のリアルタイム監視プラットフォーム/エンコーダバウンダリポイント、Originサーバ、CDN/Edgeサーバ、エンドデバイスでのABRコンテンツの整合性検査やオーディオ/ビデオ品質検査、サーバやネットワークのパフォーマンス監視が可能。/「ORION Central Manager (OCM)」で複数監視ポイントの一元管理ができます。

# Interra Systems 社「BATON」



クラウドにも対応したエンタープライズ向けファイルの自動品質検査システムファイルベースワークフロー向け次世代型QC プラットフォーム最新版のv.8.1 のデモをご覧いただけます。常に進化し続ける「BATON」はあらゆるメディアサービス向けに最適な映像/音声の品質検査をパワフルかつ効率的に実行し、高品質なコンテンツ準備をお手伝いします。

https://www.innotech.co.jp/



# グラスバレー

https://www.grassvalley.jp

"We Love Live"を旗印に、メディア/ エン ターテイメント市場の未来に対するビジョ ンをサポートする、新しいコーポレートアイ デンティティとマーケティングを開始。また、 バージョン [EDIUS X]、新製品の [T2 4K Plus」に加え、クラウド上でライブ制作を可能 にする「GV AMPP」を初出展した。

# <u>ノンリニア編集システム「EDIUS X Series</u>」

業務用ノンリニアビデオ編集ソフトウェア 「EDIUS X Workgroup」世界中のユーザーか らリクエストを受けたバックグラウンドレン ダリング機能を搭載。レイアウターモーション トラッキング機能を追加。「追跡モード」と「固 定モード」を新設しました。

### T2 4K シリーズ

入力(SDI × 4 系統)と出力(SDI×4系統)を 個別に備えたIO ボード搭載の「T2 4K Plus」



リアルタイム編集システム「REXCEED W4000

が登場。4K (DCI/UHD)、HD、SD に対応し たデジタルディスクレコーダーで、最新Ver で は、HD3 チャンネル再生/収録(Elite/Pro のみ)や新フォーマットに対応など、多くの機 能を追加する事が可能。

イベント、放送、編集の現場で必要とされる機 能を、ハードな使用に堪える頑丈さとともに凝 縮。無限の可能性と高いコストパフォーマンス を約束します。

入出力インターフェースには、3G-SDI x4を 備え、4K(2160p)での運用だけでなく、HD (1080p/1080i)での運用にも対応。本体前面 には、7 インチ大型タッチパネル液晶と操作ボ タン、ジョグ/ シャトルを搭載し、基本的な操 作はフロントパネルだけで行えます。さらに、 外部ディスプレイとキーボード&マウスを接 続した「ワークステーションモード」では、よ り直感的にかつスピーディーに操作が可能。



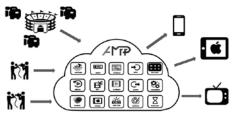
「T2 4K Plus シリーズ」

# **GV AMPP**

グラスバレー主催のバーチャルNAB ライブ配 信「Innovate 2020」にて発表され、日本初 公開の新商品である「GV AMPP」は、放送向 けクラウドベースのSaaS 製品。

放送向けクラウドベースのSaaS 製品です。 必要な機能を必要な分だけサービスとして利 用出来るアプリケーションソフトウェアを提 供する。

AMPP を使うと、制作に必要な機能を全て起 動させたり停止させたりする事が出来ます。こ れらの機能をスピンアップ&ダウンして、使用 したサービスの料金のみを支払う事が出来る。



Agile Media Processing, Cloud-Enabled, Cloud-Based, GV AMPP Cloud-Native. Media Creation and Distribution Solutions の詳細はこちらより▶





https://www.grassvalley.jp

# (株) 計測技術研究所

https://www.keisoku.co.jp/vw/

2021年11月に同社非圧縮ビデオレコー ダー「UDR シリーズ」の新モデル「UDR-XL 2021 にて発表した。

本製品は、シリーズ初となるNVMe SSD を記 録メディアに採用し、SDI 対応非圧縮レコー ダーとしては最上位機種となる12G-SDI対応 の機器です。

------ 代表取締役社長 渡辺曰く------「当社は、高精細非圧縮レコーダーのリーディ ングカンパニーとして20余年経験と実績を積 み重ね、お客様の実現したいことに向かってお 客様と共に全力で取り組んでまいりました。

歴代のUDR レコーダーは、多くのお客様の声 を反映しながら機能、信頼性と拡張性を獲得し ております。今回リリースするUDR-XL40e は、ネットワーク、使い勝手の良さ、高信頼性に よって非圧縮レコーダーの新たな可能性を新 たな市場で実現してまいります。」

■製品概要:UDR-XL40eは、HD~UHDに 対応したSDI 非圧縮画像を録画/再生出来るレ コーダーで、専用機たる本体は、制御部、記録部、 ビデオI/F 部から構成される非圧縮レコーダーと なります。

記録部は、最新のNVMe SSD を採用した高 速・大容量メモリを専用メディアパックで格納 40eJの1月受注開始に先駆けて Inter BEE しています。また、ビデオI/F 部は、12G-SDI 2 系統又は3G-SDI8 系統の入出力インター フェースで構成されております。

> ビデオI/Fで入力された映像·音声·ANC情 報をフレーム単位で記録部に格納し忠実に再 生するのは元よりネットワーク経由で非圧縮 データとしてダウンロード可能です。また、非 圧縮データを記録部にアップロードすること により希望するデータを忠実に再生すること も可能です。

> 制御部は、リアルタイム性と安定性を提供する デュアルOS にて制御されネットワークや周 辺機器接続更に利便性が増しております。

> また独自の同期制御技術 (ULINK)により2 台を同期運転することでフル8K(8K60P /10bit422)を録画/再生することが可能なの は勿論、最大16台(4K60Px32チャンネル) をネットワーク負荷に依存することなく安定 して記録/再生をすることが可能です。

> ■主な特長として:UDRシリーズ上位互換 (UDR-N 及びUDR-XL) /大容量メディアパッ ク 最大16TB /ペイロードID によるイージー収



録/ ULINK による複数台システムアップが可能 (最大16台)/環境にやさしい小型・低騒音設計 ■主な機能:4K/120Hz記録再生/4K/60Hz 同時録画·再生/12G-SDI/3G-SDI(SMPTE ST 2082-1/SMPTE 424準拠)/IEEE 802.3 GbE/40 GbEネットワーク対応/USB 3.0外 部ストレージ直接接続可能

■使用用途:4Kマスターデータ収録/4K基 準信号·基準映像再生/4K/120Hz 記録再生 /4K 多チャンネル収録再生/4K 同時記録再 生によるディレイライン

■ターゲット市場:4K コーデック開発 /4K 表示開発/4K 映像制作/4K 常設展示/4K エンターテイメント

# 製品情報

https://www.keisoku.co.jp/vw/ products/video-recorder/udr-xl40e/



#### (株) フォ トロン

# https://www.photron.co.jp

ブースでは、《To the Next Standard》をコ ンセプトに、リモート環境とシステム集約化に よる、映像制作における新たな業界標準となる "The NEXT" ワークフローを提案。

昨今急速に関心が高まっているリモート編集 やリモート制作、そして効率的なシステム運 用を実現するセントラライズ収録システムを 展示。フォトロン本社 (東京都千代田区)と

InterBEE2021 会場(幕張メッセ/千葉県千 葉市)をインターネット接続し、リモートオペ レーションによるワークフローを実機にて体験 可能な展示を行った。

また、同時開催の特別企画展『InterBEE IP Pavilion (以下、IP Pavilion)』では、IP をメイ ンに構築した最先端のテクノロジーを紹介。

『IP Pavilion』に設置したEVS 社ハイエンドラ



イブプロダクションサーバ「XTVIA」と、フォ トロンブースのEVS 社最新リモコン「LSM-VIA」をIP 接続し、フォトロン独自のリモートラ イブプロダクションを提案した。

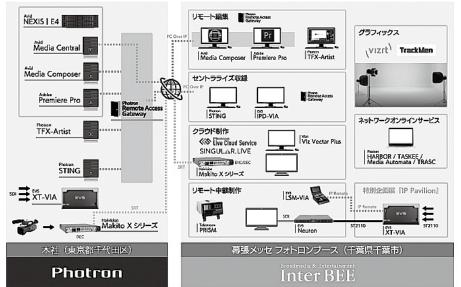
その他、XR ライブシステム、クラウドベースコ ンテンツ管理サービス、AI 自動文字起しサー ビス等、フォトロンならではのユニークなソ リューションやサービスを幅広く紹介した。

### \*出展内容\*

リモート編集ゾーン/セントラライズ収録ゾー ン/クラウド制作ゾーン/リモート中継制作 ゾーン/グラフィックスゾーン/ネットワーク オンラインサービスゾーン

https://www.photron.co.jp/





# リーダー電子㈱

アナログからデジタル、HD から4K など放送 パケットステータ 環境が変化する中、多くのお客様をサポートし てきました。同展では、SDI からIP へ移行が進 む放送業界のニーズに対応した製品を展示。 IP 解析機能が充実した4K 対応波形モニター、 PTP 対応シンクジェネレーター、ST2110 お レーター/波形/ベ よびST2022-6 非圧縮に対応したIP 監視装

置、IP とSDI に対応したPHABRIX 製品など、 IP 環境の構築に最適な製品をデモンストレー ションを行った。

# IP 監視装置 [LVB440] <新製品>

SMPTEST 2022-6, SMPTEST 2110-20/ 21/22/30/40 対応/Pパケットステータ ス表示、パケットロス/エラー監視/パケット ジッター測定/最大8ユーザーでの同時監視 /最大標準40Gbps、オプション60Gbps / HDR、CIE チャート機能搭載/JPEG -XS対 応デコードオプション

デモ内容:HD、4Kが混在したIP信号を同時 入力して測定

# IP&SDI ハイブリッド 波形モニタ「LV5600」

4K 25G -IP 対 応 /SMPTEST 2022 -6、 SMPTEST 2110-20/21/30/40/ネット ワークのPTP同期(SMPTE ST 2059)/IP

ス表示、パケットロ ス/エラー監視/パ ケットジッター測 定/25G-IPジェネ



クトル/ピクチャー/オーディオ/アナライズ/ 簡易字幕機能

デモ内容: 4K IP 信号の測定・監視

# IP &SDI ハイブリッド ラスタライザー QxL (PHABRIX)



4K 25G-IP対応/SMPTEST 2022-6、 SMPTE ST 2110 -20/21/30/40 対応/ ネットワークのPTP 同期 (SMPTE ST 2059) /IP パケットジッター測定/ エラー監視 /SDI ストレステスト//波形/ベクトル/ピクチャー / オーディオ/ アナライズ/ ジェネレーター機能 デモ内容:4K IP 信号の測定·監視

### ポータブルアナライザー/ジェネレーター SxTAG

10G-IP フォー マット SMPTE ST 2022-6, SMPTF ST



# https://www.leader.co.jp/

2110-20/30/40 /IPアナライズ/HD-SDI アナライズ/SDI からIPへ、IP からSDI へ変換 /PTP/ST 2022-6 からBB 生成

デモ内容: IP のENCAP、DECAP

# PTP 対応シンクジェネレーター LT4610

ゲンロック機能/ステイインシンクとスロー ロック機能/PTPマスター/スレーブ対応/ GPS、タイムコード/アナログブラック同期 信号出力/12G/3G/HD/SD-SDI出力/8K 映像信号対応/2重化電源

デモ内容:マスターシンクBB → PTP → BB の変換

# コンテンツチェッカーGLADIAS【参考出品】

AI のディープランニングを利用してコンテン ツの異常を検出するクラウドサービス(オン プレミスも対応)/検査項目映像異常:ブロッ クノイズ、ゴースティング、量子化ノイズ、合成 エラー、ピクセルノイズ、マットエッジエラー、 ワーピング、フリーズ、コマ落ち、フリッカー、 ハーディング検査 (光過敏性発作対応)/検査 項目音声異常: クリッピング、ミュート、ハム ノイズ、平均レベル、ミッシングチャンネル、 ピーク・ボトム、ラウドネス

デモ内容:クラウドサービスでの実測 **早ぶ**早

https://www.leader.co.jp/



# レスターコミュニケーションズ(株)

https://www.restarcc.com/



SGO Mistika テクノロジー Mistika Ultima/Boutique(最新バージョン):

10月にリリースされたMistika の最新バー ジョン10.4 を、国内初展示。本バージョンで は各種RAW ファイルへの対応拡充や新機能 追加などにより、さらなるユーザービリティの 向上が実現しております。HD から8K に至る までご要望に合わせてシステムインテグレー ションさせていただくことで、クリエイターへ 最高の編集環境を提供します。



Mistika Workflows : Mistika を提供する SGO が新たに開発した、ファイル変換・制作 管理・自動化ソフトウェアです。定型業務の 操作フローを簡単に自動化でき、時短、人的リ ソース問題や人為ミスなど御社の業務課題を 解決するだけでなく、低コストでDX 促進を実 現することが出来ます。

# スケールアウト・ストレージ Quantum H シリーズ(新製品)



昨年2月に最新のハードウェア技術とSPEC SFS VDA で世界最速を実測したクアンタム社 の Stor Next V7 ソフトウェアを融合した、世 界最速のビデオ・ワークロード向けファイル・ システムのQuantum H4000 シリーズ。

Quantum H4000 は、最新のStor Next V7ファイルシステムを搭載し、Software-Defined Architecture 技術により、2U 筐体 に必要な全ての機能が含まれています。

これまで以上にお求めやすい価格となり、HD 編集用の共有ストレージとしても最適で、柔軟 な拡張性を活かして、4K8Kといった大容量で 高速なストレージシステムとしても構築可能 です。



CreateLED 社 LED ディスプレイ

CreateLED 社は、2004年に設立された、 中国の深圳に拠点を置くLED ディスプレイ のメーカー。創業以来「高性能製品の開発、高 水準の製造技術、高品質サービス」を経営理念 として掲げ、グローバルLED ディスプレイソ リューション企業として発展しています。

CreateLED 社のLED ディスプレイは、各国の ディストリビュータを通じて世界中で販売さ れており、商業、電力、公安、通信、輸送、政府、石 油化学、防衛、水管理システムなどの幅広い分 野で使用されています。日本国内につきまして も、多数の導入実績があり、安心してお使い頂 けるサポート体制も用意しています。

また、当社ショールームでもCreateLED 社の LED ディスプレイの実機をご覧頂 回激间

https://www.restarcc.com/

くことができます。

# ローランド㈱

# https://www.roland.com/jp/



ブースでは、「ライブ配信」と「ハイブリッド・ イベント」をテーマに、電子楽器で培ったノウ ハウをもとに、映像のスイッチング機能と音声 のミキサー機能が一台に集約されたビデオ・ スイッチャーやAV ミキサーを多数取り揃え、 視聴者に質の高い映像と音声を届けるための 機能を紹介。

企業・団体の情報発信手段として定着した「ラ

イブ配信しまた緊急時のニュース以外でも放 送との同時配信においてインターネット配信 の活用が注目を集めてる。各方面で多様な配 信が増える中、より視聴者のエンゲージメント を高めるための映像演出において「音声」の重 要性が見直されているとし、同社が電子楽器で 培ったノウハウをもとに、映像のスイッチング 機能と音声のミキサー機能が一台に集約され たビデオ·スイッチャーやAV ミキサーを多数 取り揃え、視聴者に質の高い映像と音声を届け るための機能を紹介した。

また、InterBEE 開催に先駆けて、2021年8 月に発売を開始した「V-160HD」を展示紹介 したほか、10月20日には、スマートフォン

やタブレットで 手軽に録音し、 曲作りも可能な iOS / Android 対応の無料版レ



コーディング用アプリ「Zentracker」を発表 した。

簡単な操作で手軽にマルチトラックでの録 音、ミックスができるモバイル・デバイス用 アプリ。録音トラック数は無制限。16種類の エフェクトや200 以上のオーディオ・ルー プを内蔵し、曲作りにも活躍。Roland Cloud のサブスクリプション・サービスへの加入で 「Zentracker」のフル機能を使用可能な製品 である。

その他の展示紹介製品は以下の通り。

HDストリーミング・ミキサー[V-02HD MKII] ビデオ・インスタント・リプレイヤー「P-20HD」 4Kビデオ・スケーラー「VC-100UHD |

この他にも自社が保有する映像 · 音声技術を提 供するOEM/ODM/ コンサルティング事業を紹 介も行った。

https://www.roland.com/jp/





HDストリーミング・スイッチャー「V-160HD」



4K HDRマルチフォーマット・ビデオ・スイッチャー「V-600UHD」



HDビデオ・スイッチャー「V-8HD」

# 伊藤忠ケーブルシステム㈱

https://www.itochu-cable.co.jp/

当社は、今年で創立35周年を迎えました。放送・通信に音響分野も加えた高度なノウハウと豊富な実績を持つマルチベンダー Sler として、CATV業界に止まらず、放送局、映画業界、ポスプロ、通信会社等にビジネスを拡大しています。

Inter BEE 2021 では、「放送映像制作ソリューションツール&システム」、「OTT (動画配信) &SRT 映像伝送ソリューション」、「クラウドベース スタジオ」、「IP プロダクション」と多様なソリューションを紹介しました。

\*Facilis Technology 社の共有ストレージ 「Facilis HUB 共有ストレージシステム」: 一 筐体で4K6Op マルチストリーム/ リアルタ イム再生を可能にするウルトラハイパフォー マンスの製品です。

\*Venera Technologies 社のファイルベース自動QC ツール「Pulsar」: 豊富な対応フォーマット、柔軟な設定が可能な解析テンプレート機能、オペレーターの省力化をサポートする自動化機能などを備えた、費用対効果の高い自動QC ツールです。

\*SRT プロトコル:放送・配信事業者様のワークフローにおけるネット回線の品質担保に対する課題解決策の一つとして注目度が高まっているSRT プロトコル。ブースではSRT の実演デモを通じて、採用することのメリットを紹介。

\*遠隔地とのリモート合奏を遅延ゼロで実現。 Elk AudioOS ベースの独自技術により低遅延と公衆回線エラー補償を実現することで、プロの演奏家にも耐えうる唯一のリモート合奏サービスです。

\*Imagine Communications 社「SNP」は、IPGW、HD/UHDのアップ/ダウン/クロス変換、色域/HDR変換、マルチビューワなど多彩な機能を備え、JPEG-XS、ACO、DSK機能など今後も追加が目白押しです。

# Cobalt Digital 社 4K HDR/H.265 対 応 エンコーダ製品



HPF-9000/oGx は、スペースファクターや耐熱性に優れた、Cobalt Digital のopen Gear® モジュールです。AJA やRoss Video といった他メーカーのopenGear® モジュールと組み合わせて、ご使用いただくことも可能です。専用ソフトウェアのDashBoard により、フレーム内のモジュールを詳細に設定することが可能です。

Cobalt Digital 社のopenGear® モジュールを使用して、HDR 映像の配信を行うことが可

能です。9992-ENC-4K-HEVC は、4K HDR に対応したエンコーダでYouTube Live など、HDR に対応した配信プラットフォームと互換を持ちます。もし、配信素材がSDR 映像であっても、Cobalt Digital 社の9904-UDX-4K を使用すればHDR へのアップコンバートをリアルタイムで行うことが可能です。

# XenData 社 アーカイブファイルサーバ&ソ フトウェア

XenData アーカ イブシリーズは LTO/ODA/ クラ ウドに対応した



Windows ベースのアプライアンスサーバです。汎用的なプロトコルやファイルシステムを採用しているため、ご利用のネットワークに適応し、シームレスなアーカイブワークフローの構築が可能です。

Facilis Technology 社 Facilis HUB 共有



1 筐体で4K 6OPのマルチストリーム再生が可能な高性能オンラインストレージ。 Avid Media Composer やPro Tools を始め、多くのアプリケーションをサポート。 多種多様な制作ワークフローに対応します。

# IHSE 社 デジタルKVM システム



Draco IP CON R488 シリーズは、IHSE 社で初めてのTCP/IP 接続可能なコンソールユニットです。セキュア IP リモートアクセスゲートウェイ (SI RA) により、オペレーターはTCP/I P接続された外部の端末からリモートでシステムのクライアント端末を操作する事が可能です。MV42 シリーズは、IHSE 社が誇る優れたKVM 機能を持つ4 入力2 出力のマルチビューワーです。4K 60P の入出力に対応し、4K ディスプレイであれば、分割画面もフルHD 解像度で表示されますので、高精細なモニタリングが可能です。

Cambridge Research Systems 社 パカパカチェッカー:ハーディングFPA シリーズは「光過敏性発作」発症の可能性があるとされている動画シーケンスの解析、評価を行うパカパカチェッカーと呼ばれるフラッシュ・アンド・パターン・アナライザソフトウェア製品群です。

Venera Technologies 社 ファイルベース自動QC システム: Venera Technologies 社はインドのニューデリーを拠点とし、2003年の創業以来、世界で250以上の導入実績を有する、ファイルベースQC 製品分野のリーディングカンパニーです。同社はQC 製品で最初で唯一のAWS Partner Network QC vendorです。ファイルベースワークフローの本格化に伴い増加傾向の様々なトラブル対策として、受入時や納品前の事前チェックを支援するファイルベース自動QC ツールです。

テクノマセマティカル社 リモートMA 編集システム ARPS -1: TMC 社のARPS -1(アープスワン)は、リモートMA 環境の構築を実現します。スタジオから現場への送り返しシステムとして定評のある同社のシステムをベースにリモートMA 編集向けの支援機能を追加したパッケージシステムです。

Imagine Communications 社 SNP: SNPは、1RUのサイズでHD/3G/12G-SDIの入出力を備え、SMPTE ST2022/ST2110のみならず、AMWA IS-04/05 に準拠した世界規格を満たす製品です。4つの独立したプロセッサを使用して、IPゲートウェイ、HD/3G/UHDのアップ/ダウン/クロス変換、色域調整やHDR変換などの様々なビデオ処理や、マルチビューワ機能などを合わせて使用することが可能です。

Skyline Communications 社 DataMiner: 従来のアラーム監視システムのような機器障害の監視に加え、多階層のネットワークレイヤーの状態、OS/アプリケーションの稼動状態、仮想環境など、ネットワークで接続している機器(以下、デバイス)のあらゆるステータスを受信し、全ての状態が運用条件に満足しているかをリアルタイムで監視・可視化することができます。さらに、信号の切り替えやデバイス制御、AI機能を有した状態予測などを行うなど、従来のアラーム監視機能を超えたシステムを構築することができます。

SRT 映像伝送ソリューション: 公衆インターネットでも低遅延・高画質・暗号化で映像伝送が出来るSRT。コロナ禍で問い合わせも増え、AWS Elemental、Synamedia 等の放送・OTT (動画配信) 問わず大手メーカーも多数対応しはじめており、現在SRT アライアンスは500 社を超えています。弊社はSRT がオープンソース化される前からSRT 対応製品を取扱い、発足当初からSRT アライアンスに加盟しておりマルチベンダーで最適なソリューションを提供。会場では海外リージョンを経由したSRT とUDP の映像比較を実演デモンストレーションを行いました。

https://www.itochu-cable.co.jp/



#### 友 (株)

# https://www.mitomo.co.jp/

シネマ関連機材を中心に、配信関連、ポスプロ関 連のソリューションを紹介。伝統のレンズメー カー Leitz 社の新作シネマレンズや、最新のハイ エンドVR カメラKANDAO Obsidian Pro、ポ スプロ関連システムとして、コロナ禍の今注目さ

れるリモート編集システムを紹介した。

# <u>シネマレンズ『Leitz』</u>



Leitz より発表されて間もないフルフレームプ ライムレンズELSIE《エルシー》(2023年発 売予定) やLEITZ PRIME 350mm を紹介。

- · LEITZ ELSIE 15mm  $\sim$  150mm
- · LEITZ PRIME 18mm ~350mm
- · LEITZ ZOOM 25mm-75mm/55mm-125mm
- · THALIA 24mm  $\sim$  180mm
- · M 0.8 21mm(f/1.4)/24mm(f/1.4)/28 mm(f/1.4)/35mm(f/1.4)/50mm(f/1.4))/50mm-Noctilux(f/0.95)/75mm(f/2. 0)/90mm(f/2.0)
- ・MACROLUX 114, 95 前面直径114 mm レ ンズ用、95mmレンズ用 各+2/+1/+0.5

# VR カメラシステム『KANDAO』



ハイエンド12K 360 3D VR カメラ Kandao Obsidian Pro: Kandao Obsidian Pro は、 8 つの2400 万画素のAPS-C センサーを備 えた世界初のシネマティック3D VR カメラで す。12K x 12K 30fps の3D パノラマビデオ に対応しています。さらに、14ストップのダ イナミックレンジと、ISO 感度は12,800 の 値をカバーしています。

より多くの解像度と、より高い感度を備えてい ることで、緻密なディテールの再現力や暗闇で も優れたパフォーマンスを発揮できます。

・8K 360° LIVE ソリューション Qoo Cam 8K Enterprise :

カメラ内リアルタイ ムスティッチングの 8K 360 度ライブ配 信が可能です。



スピードカメラ Dream CHIP -ATOM one-: ATOM one は、3G-SDI/12G-SDI出力を 備えた超小型の放送用カメラです。このカ メラはソニーのIMX シリーズのイメージセ ンサーをベースにしており、優れた画像性能 を提供します。ATOM one Family は、Full HD、UHD、4Kのタイプからお選びいただ けます。今回、ATOM one シリーズにハイス ピードカメラが加わりました。

・500fps の超小型放送用ハイスピードカメ **∋ATOM one SSM500** 

特徴:超小型ハイスピードカメラ/up to 500 fps 解像度とフレームレート:1920 x1080 Full HD / フレームレート:23.98, 24, 25, 29, 97, 30, 50, 50, 94, 60, 50i. 59.94i, 60i / C マウントとB4 マウントのタ イプがあります。

# プレミアムカメラアクセサリー『Kondor Blue』



Kondor Blue は、ロサンゼルスを拠点とする ディレクター/ シネマトグラファーのルーカス コロンボによって2019年に設立されました。 ケージやハンドルといったリグやケーブルな ど、全製品、映画制作者にとって、より使いやす く高品質なプロダクションアクセサリーを目 ルユースの革新的なカメラアクセサリーやモ 指して設計、製造しています。

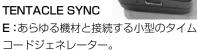
Kondor Blue のプレミアムカメラアクセサ リーを使用することで、撮影時の様々な問題を 解決するだけでなく、世界中のクリエイターに 力を与える製品を提供していきます。

# **TENTACLE SYNC**

・ポケットオーディオレコーダーTENTACLE TRACK E:オーディオレコーダーは、ミュー ジシャン、プロのサウンドミキサー、ドキュ

メンタリーの映画製 作者など、様々なプロ フェッショナルが求め る高い録音のクオリ ティを全てのユーザー へ提供します。

・小型タイムコード ジェネレーター



Bluetooth®を介して、すべての TENTACLE TRACK E および TENTACLE SYNC E デ バイスのセットアップと制御が可能です。

# CINE サポートツール『UPGRADE』 INNOVATIONS]:



UPGRADE INNOVATIONS は、機材の品質 を重視するプロフェッショナルユースの革新 的なカメラアクセサリーやモニターブラケッ トを設計、製造しています。これら製品は、過酷 な撮影現場において長期の使用に耐えるプロ ダクトです。Upgrade Innovations は、カナ ダで設計、製造された最高品質のCINE サポー トツールです。

Inovativ カート(Echo、Scout、Voyager、 Apollo など) 用 モニターマウント & アクセサ リー/Whaley Rail II /ハンドル & グリップ /Rudy Arm & 15mm マウントシステムなど

# 最高峰ND フィルター『TRUE ND』

UPGRADE INNOVATIONS は、カナダで設 計、製造された最高品質のCINE サポートツー ルで、機材の品質を重視するプロフェッショナ ニターブラケットを設計、製造しています。こ れら製品は、過酷な撮影現場において長期の使 用に耐えるプロダクトです。

https://www.mitomo.co.jp/



# JAVCOM 運営会議便り

### 第293回運営会議

日 時:2021年11月30日(火) 15:30~16:30

**場 所:**Zoomオンライン会議

(コロナウイルス感染予防の為) べ」10月27日(水オンラ

出席者:16名

#### 議 題

#### 1. 会員動向(梶事務局長)

今回はなし

常に良かった。

# 2. 協会催事進捗報告(各担当責任者)

(1) Inter BEE2021 結果報告(田村委員長) 今回、角地ブースであった為、立地条件が非

ブース来場者数:29名(内12名 非会員様) 反省点:プロジェクター映像が照明に負けてしまい、見辛かった点が次回の課題となった今回は事務局と広報出版委員会のみでの運営であったが、次回は各委員会からの持ち回り担当に戻す予定。(今回はコロナ禍で来場者数が読めないことから、上記体制で問題ないという推察であった為。)

次回は、入会者を呼び込めるようなプロモ ーションを要検討。

(2)第159回特別セミナー 進捗状況(寺林副理事長)

テーマ: 感性コミュニケーション〜男女脳 差理解による組織力アップ〜

講 師:株式会社感性リサーチ

代表取締役 黒川伊保子氏

日 時:2022年(令和4年)9月28日(水) 15:30~16:45

会 場:人事労務会館(大崎)予定

(3)役員選挙準備 選挙管理委員会設立(尾崎常任於東島)

2022年1月に選挙管理委員会を設立予定。 それに先立って、本日準備室を寺林副理事 長と共に発起した。

(4) 通常総会 進捗状況(梶事務局長) 本日の常任幹事会にて2022年6/10(金)開催に決定。(開催方法については、情勢を鑑みて決定。)リアル開催の場合は、都内にて開催予定。

## 3. 各委員会報告

# ■広報出版委員会(田村委員長)

◇活動報告

(1)広報出版委員会第2回Inter BEE直前打ち合わせ。

直前の確認事項が多く、電話による迅速な 打ち合わせを各担当といたしました。 事前搬入、展示品、会場レンタル品、ビデオ 制作、搬出などの再確認。

開催連日、来場の会員各位にお立ち寄りいただきましたJAVCOMブースの展示は無事終了、撤収いたしました。

#### (2)JAVCOM NEWS

144号11月Inter BEE 直前号は予定通り Inter BEE事前に発行し、Inter BEEブース でバックナンバーとともに配布しました。

**^** 

### 145号2022年新年号

- ・理事長、副理事長、常任幹事長新年のご挨拶
- 運営会議だより
- ・技術研究委員会 第2回「新・人こよみ語り べ」10月27日(Mオンライン開催
- ・ソフト制作研究委員会 勉強会「オンライン プレゼンの極意」11月5日 金オンライン開催
- ・我社のPR 未定
- · 熟年人語 未定

# (3)ホームページ更新

インフォメーション

2022「新春セミナー」および「新年賀詞交歓会」中止のお知らせ。

Inter BEE2021 JAVCOMブースの案内。 JAVCOM SNS (Twitter, Facebook, Instagram)にもJAVCOMブース案内の告 知をしました。

# ◇活動予定

定例会は2022年1月後半に開催予定。 次回JAVCOM NEWS #145は2022新春 号です。

\*理事長、副理事長、常任幹事長に記事の依頼 をいたします。

### ■ニュービジネス研究委員会(関野委員長)

#### ◇活動報告

今回はなし

## ◇活動予定

(1)第100回ニュービジネス研究委員会 定例会 日 時:2021年12月10日(金) 17:00~(予定) 場 所:レスターコミュニケーションズ会議室 内 容:第158回セミナー反省会など

勉強会・見学会などの提案について

(2) NBCカップを2022年2/19(土)に開催予定。

# **■技術研究委員会**(新井委員長)

### ◇活動報告

第2回新·人こよみ語りべ、第247回定例会 日 時:10月27日(水) 17:00~18:00

場 所:Zoomミーティング

参加者数:33名

## ◇活動予定

JDSF, JAVCOM合同セミナー打合せ

日時:12月初旬

場 所:Zoomミーティング

ヒビノ㈱ バーチャルプロダクション見学について:通常案件以外での見学はご遠慮頂きたい旨、ヒビノ㈱より回答があったため、一旦延期の方向とした。

代替え案として、三友のバーチャルスタジオ の見学を1月開催にて検討中。

# ■ソフト制作研究委員会(村松委員長)

### ◇活動報告

(1)11月ソフト制作研究委員会定例会を11月 11日(木)に、スタジオエコー会議室ZOOM

とのハイブリッドで行いました。 参加数:8名

(2)JAVCOMソフト制作研究委員会 2021年 11月度勉強会

ZOOMでのベストな配信方法「オンライン プレゼンの極意」開催

(Youtuberなどに話を聞き集客能力を上げる事のできる配信方法を学ぶ)

日 時:11/5(金) 18:00~18:45

会 場:Zoom

講 師:岩瀬慎平(東芝/日本大学講師)

参加者数:32名

今まで単純にノートパソコンに向かって説明をするだけでしたが、色々な道具を使う事、演出、カメラ目線、話し方の間など色々駆使して見せる方法を学べたのが非常によかったです。

#### ◇活動予定

# (1)実施予定の勉強会

①東通産業が販売している等身大のホログラムを照射する機材「PORTL Hologra」の見学会を12/14に開催予定。(1回につき7名を2回に分けて計14名まで見学可能) (https://www.portlhologram.com/)

②ラテグラ(3DリアルタイムグラフィックAl ライブ(担当:吉田、村松)

ラテグラに再度打ち合わせに行き、勉強会の 相談をする。

(ZOOMかリアルかやり方も含めて相談) 勉強会ではなく、有料セミナーにて開催できないか、検討中。

③BOATRACE六本木の見学(担当:和田) 六本木、船舶振興会の配信システムの見学を 検討(開催時期未定)

# 新たな勉強会の候補

- ・CPUメーカーのAMDの新しいCPUなど機 材の勉強会
- ・日活調布スタジオ内に開設されているバー チャル・ライン・スタジオ(株)の見学を検討。

# (2)調整中の勉強会

- ①障がい者雇用セミナー
- ②スタジオ・エコー"アフレコ現場"見学
- ③VOOK(ビデオグラファー)
- 4C&R(Youtuber)
- ⑤eスポーツの勉強会
- ⑥BLACKBOXのスタジオ見学

## 4. 第221回常任幹事会報告(尾崎常任幹事長)

日時:2021年11月30日(火)

14時00分~15時00分

場 所:Zoomオンライン会議

議 題:(1)協会催事

(2)各委員会報告

(3)10月度収支報告

(4)その他 事務局報告

(5)協会運営

JPPA AWARDS2022後援依頼に ついて、承認された。

次回 第222回常任幹事会

日 時:2021年12月16日(木)14時~15時場所:Zoomオンライン会議

### 5. その他 (事務局・梶事務局長)

(1)11/12(金) 新春セミナー・賀詞交歓会中 止のお知らせ 案内送付

11/17(水)~19(金) Inter BEE2021 (2)スケジュール

12/28(火) 事務局仕事納め 1/6(木) 事務局仕事初め

寺林副理事長

運営会議提起事項

### 次回常任幹事会

12月16日(木)14:00~ Zoomオンライン会議 1月26日(水)14:30~ 麴町区民館 洋室C予定 次回運営会議

12月16日(木)15:30~ Zoomオンライン会議 1月26日(水)16:00~ 麴町区民館 洋室C予定

# 第294回運営会議

日 時:2021年12月16日(木) 15:30~16:30

所:Zoomオンライン会議 (コロナウイルス感染予防の為)

出席者:21名

#### 議 題

#### 1.会員動向(梶事務局長)

退会申込 OB会員 平野健治 3/31(12/9退会届提出) 本日の常任幹事会にて承認された。(退会理 由:個人の活動がお忙しいとのこと)

# 2. 協会催事進捗報告(各担当責任者)

(1) 第159回特別セミナー 進捗状況(寺林副理

テーマ: 感性コミュニケーション~男女脳 **差理解による組織力アップ~** 

講 師:株式会社感性リサーチ 代表取締役 黒川伊保子氏

時:2022年(令和4年)9月28日(水) Н 15:30~16:45

会 場:人事労務会館(大崎)予定

(2)選挙管理委員会設立 計画予定表(尾崎常任 幹事長)

(3)通常総会 進捗状況(梶事務局長) 今月は特になし。今後は情勢を鑑みて、進行 予定。

# 3. 各委員会報告

# ■広報出版委員会(田村委員長)

◇活動報告

(1)Inter BEE 2021 幕張メッセ会場展示 開催連日、来場の会員各位にお立ち寄りいた だきましたJAVCOMブースの展示は無事 終了、撤収いたしました。

(2)JAVCOM NEWS

# 145号2022年新年号

- ・理事長、副理事長、常任幹事長新年のご挨拶
- 運営会議だより
- ・技術研究委員会 第2回「新・人こよみ語り べ」10月27日(水)オンライン開催

- ・ソフト制作研究委員会 勉強会「オンライン ! プレゼンの極意」11月5日俭オンライン開 催
- ・我社のPR 未定
- ・ 熟年人語 金丸幹雄氏を予定

(3)ホームページ更新

インフォメーションの更新は有りません トップページJAVCOMニュース#144に 更新しました。

◇活動予定

定例会は2022年1月後半に開催予定。

# ■ニュービジネス研究委員会(橋本副委員長)

◇活動報告

今回はなし

◇活動予定

- (1)第100回ニュービジネス研究委員会 定例会 日 時:2022年1月17日(月)~21日(金)にて 調整中
  - 場 所:レスターコミュニケーションズ又は東 洋レコーディング会議室
  - 内 容:第158回セミナー反省会など 勉強会・見学会などの提案について

#### ■技術研究委員会(新井委員長)

◇活動報告

JDSF, JAVCOM合同セミナー打合せ

日時:12月初旬

場 所:Zoomミーティング

内 容:合同セミナー題材に関する打合せ。 両協会の共通テーマを探るが、決定せず。 JAVCOM側のアイディア

配信やIP網を利用した中継などがスタ ンダードになりつつある中、それらの テクノロジー詳細や実運用事例などに ついて。

JDSF側のアイディア 5Gのその後

後日JDSF側で更に案を集め、再度打合 世予定。

# ◇活動予定

JDSF, JAVCOM合同セミナー打合せ 日 時:2022年2月中旬

# ■ソフト制作研究委員会(村松委員長)

### ◇活動報告

(1)12月ソフト制作研究委員会定例会を12月 13日(月)に、ZOOMで行いました。

(2)JAVCOMソフト制作研究委員会 2021年 12月度勉強会

「遠隔テレプレセンス(ホロポーテーション と呼ばれる)システムPORTLの見学」 PORTL Hologra(https://www. portlhologram.com/)

日時:12/14(火) 第一回13:00~ 第二回 15:00~

参加人数:各回合わせて計10名(人数制限に より各回7名まで)

会場:東通産業本計

◇活動予定

(1)実施予定の勉強会

①BOATRACE六本木の見学(担当:和田) 六本木、船舶振興会の配信システムの見 学を検討(開催時期未定)

### 新たな勉強会の候補

- CPUメーカーのAMDの新しいCPUなど 機材の勉強会
- ・日活調布スタジオ内に開設されているバー チャル・ライン・スタジオ㈱の見学を検討。

#### (2)調整中の勉強会

①障がい者雇用セミナー

- ②スタジオ・エコー"アフレコ現場"見学
- ③VOOK(ビデオグラファー)
- 4C&R(Youtuber)
- ⑤eスポーツの勉強会
- ⑥BLACKBOXのスタジオ見学
- (3) 2022年3月開催予定の有料セミナーについて 来年3月開催予定の有料セミナーについての 話し合いをしました。

今のところ感染者数も少ない事から、Liveで の有料セミナーの開催を検討。

内容に関しては新型コロナの影響でLiveのセ ミナー、イベントが行えなくなった今こそバ ーチャル(VR,AR)のセミナーを検討。

勉強会で候補に挙がっているラテグラの3D リアルタイムグラフィックやAIライブなどを 題材を検討しラテグラさんに交渉中。

(https://lategra.co.jp/)

その他テレビ東京、スクエアエニックスなど と交渉中。

# 4. 第222回常任幹事会報告(尾崎常任幹事長)

日時:2021年12月16日(木)

14時00分~15時00分

場所:Zoomオンライン会議

議 題:(1)協会催事

(2)各委員会報告

(3)11月度収支報告

(4)その他 事務局報告

(5)協会運営

次回 第223回常任幹事会

日時:2022年1月26日(水) 14:30~15:30 場 所:麴町区民館 洋室C

# 5. その他 (事務局・梶事務局長) 事務局

(1)スケジュール

12/24(金) 関連団体年賀状 発送 12/28(火) 事務局仕事納め 1/6(木) 事務局仕事初め

# 寺林副理事長

運営会議提起事項

## 次回常任幹事会

1月26日(水)14:30~ 麴町区民館 洋室 C 予定 2月25日(金)14:30~ 麴町区民館 洋室 C 予定

次回運営会議

1月26日(水)16:00~ 麴町区民館 洋室 C 予定 2月25日(金)16:00~ 麴町区民館 洋室 C 予定



